

第7章 施設の概要

1 概説

焼却処理施設は、本市の施設である水島清掃工場、一部事務組合の施設である倉敷西部清掃施設組合清掃工場（西部清掃工場）及び吉備路クリーンセンター並びにPFI事業により設置された倉敷市・資源循環型廃棄物処理施設（水島エコワークス）の4施設である。

水島清掃工場は、平成6年12月から稼働し、平成25年度から平成28年度にかけて基幹的設備改良工事を行い、平成26年度から令和16年度までの長期包括管理運営委託により倉敷地区、水島地区及び児島地区の可燃ごみを処理している。西部清掃工場は、平成10年4月から稼働し、玉島地区及び船穂地区の可燃ごみを処理している。吉備路クリーンセンターは、平成9年4月から稼働し、真備地区の可燃ごみを処理している。水島エコワークスは、平成17年4月から稼働し、倉敷地区、水島地区及び児島地区の可燃ごみを処理している。

平成14年11月から運転休止している白楽町ごみ焼却処理場を解体し、倉敷環境センターを整備する工事を、平成29年度から行っており、令和2年度に完了する予定である。

粗大ごみ処理施設は、東部粗大ごみ処理場と吉備路クリーンセンターの2施設であり、東部粗大ごみ処理場は平成7年6月から稼働、吉備路クリーンセンターは平成9年4月から稼働し、粗大ごみ等の破碎・選別処理を行っている。

西部清掃工場、水島エコワークス及び東部粗大ごみ処理場に代わる施設として（仮称）倉敷西部クリーンセンターの建設を計画し、令和7年4月からの稼働に向けて整備事業を進めている。

資源選別所は、5種分別収集によって収集したびん等を選別する施設であり、平成8年4月から稼働している。ここでは、生きびん（1升びん、ビールびん等）を回収し、その他のびんは2次選別（無色・茶色・緑色・その他の色）し、カレット化して資源化業者に引き渡している。平成29年7月からは、蛍光灯の再資源化処理委託が始まったため、処理業者へ引き渡すまでの積替保管場所としての機能も果たしている。

最終処分場は、平成15年3月から供用している東部最終処分場（2期）のみで埋立ごみ及び破碎残渣を全量埋立している。

し尿処理施設は、し尿及び浄化槽汚泥の前処理までをし尿処理場（リサイクル推進部）で行い、最終処理は下水処理場（下水道部）で行っている。施設は、し尿処理場が3施設、下水道

へ直接投入する施設が 1 施設及び一部事務組合が管理する施設が 2 施設の計 6 施設である。白楽町し尿処理場に代わる施設として（仮称）白楽町汚泥再生処理センターの建設を計画し，令和 5 年度中の稼働に向けて整備事業を進めている。

2 車両の保有状況

(1) 直営車両

(令和2年7月1日現在 単位:台)

区分	型式	車種	倉敷環境センター	水島環境センター	児島衛生センター	児島環境センター	玉島環境センター	クルクルセンター	東部埋立事業所	合計
ごみ収集関係	塵芥車	2 t	5	12			1			18
		3 t		15		3				18
		4 t	5	13		3				21
		4 t(ハイブリッド車)		1						1
	リフトダンプ	2 t	1							1
		3 t		1						1
		4 t								
	リフトトラック	2 t								
		3 t		6		2	1			9
		4 t	1	3						4
	シャッターバン							1		1
	小計		12	51		8	2	1		74
関・灰・汚泥運搬係	水密式灰運搬車	4 t	2							2
		8 t								
	小計		2							2
埋立関係	ダンプ	2 t							4	4
		4 t							1	1
		8 t							2	2
		9 t							1	1
		11 t							1	1
	埋立業務車両	パワーショベル							4	4
		ブルドーザー								
		ブルドーザーショベル								
		タイヤショベル							2	2
		バキュームダンパー							2	2
		バキューム車(4t)							1	1
		クレーン付ダンプ							1	1
	小計								19	19

区 分	型 式	車 種	倉敷環境センター	水島環境センター	児島衛生センター	児島環境センター	玉島環境センター	クルクルセンター	東部埋立事業所	合 計
し尿収集関係	バキューム車	軽			1					1
		2 t		1	8					9
		4 t			1					1
	小 計			1	10					11
その他の	特殊車	バキューム車4t								
		洗浄車4t								
		バキュームダンパ	1							1
		タイヤショベル	1							1
		ショベルローダ		1						1
		ホイールキャリア							1	1
		クレーン付ダンプ								
		フォークリフト	1			1			2	4
	一般車両	軽トラック	3	1	1	2	3		1	11
		業務用連絡車	1	3	1	1	1	1	4	12
小 計		7	5	2	4	4	1	8	31	
合 計			21	57	12	12	6	2	27	137

(2) 委託業者の車両

型式・車種 所属施設	塵芥車			リフトダンプ			リフトトラック			計
	2t～	3t～	4t～	2t～	3t～	4t～	2t～	3t～	4t～	
倉敷地区(一部)収集委託	2	17					1	4		24
児島地区(東部)収集委託	2	6					2			10
児島地区(西部)収集委託	5	2					2			9
玉島地区収集委託	3	7					3			13
水島地区(北部)収集委託		9						2		11
水島地区(南部)収集委託		8						1		9
船穂地区収集委託	1	1						1		3
真備地区収集委託	2	1					1			4
粗大ごみ収集委託	3		1	3	1	1	5	2		16
合 計	18	51	1	3	1	1	14	10		99
	70			5			24			

3 一般廃棄物処理施設

◇焼却処理場・資源循環型廃棄物処理施設◇

所管部署等	環境施設室	倉敷西部清掃施設組合 (倉敷市・浅口市で構成)	総社広域環境施設組合 (総社市・倉敷市で構成)
施設名称	水島清掃工場	倉敷西部清掃施設組合清掃工場	吉備路クリーンセンター
施設能力	300 t / 24 h	180 t / 24 h	180 t / 24 h
備考		倉敷市持分90% (162 t / 24 h)	倉敷市持分28% (50 t / 24 h)

所管部署等	水島エコワークス株式会社 (倉敷市PFI事業)
施設名称	倉敷市・資源循環型廃棄物処理施設
施設能力	555 t / 24 h (内訳：一般廃棄物等303 t / 24 h，民間事業者が行う産業廃棄物252 t / 24 h)
備考	平成14年3月15日事業契約締結 平成15年4月着工，平成17年4月稼動開始

◇粗大ごみ処理施設◇

所管部署	東部埋立事業所	総社広域環境施設組合
施設名称	東部粗大ごみ処理場	吉備路クリーンセンター
施設能力	80 t / 5 h	34 t / 5 h

◇資源選別所◇

所管部署	環境施設室
施設名称	資源選別所
施設能力	15 t / 5 h

◇最終処分場◇

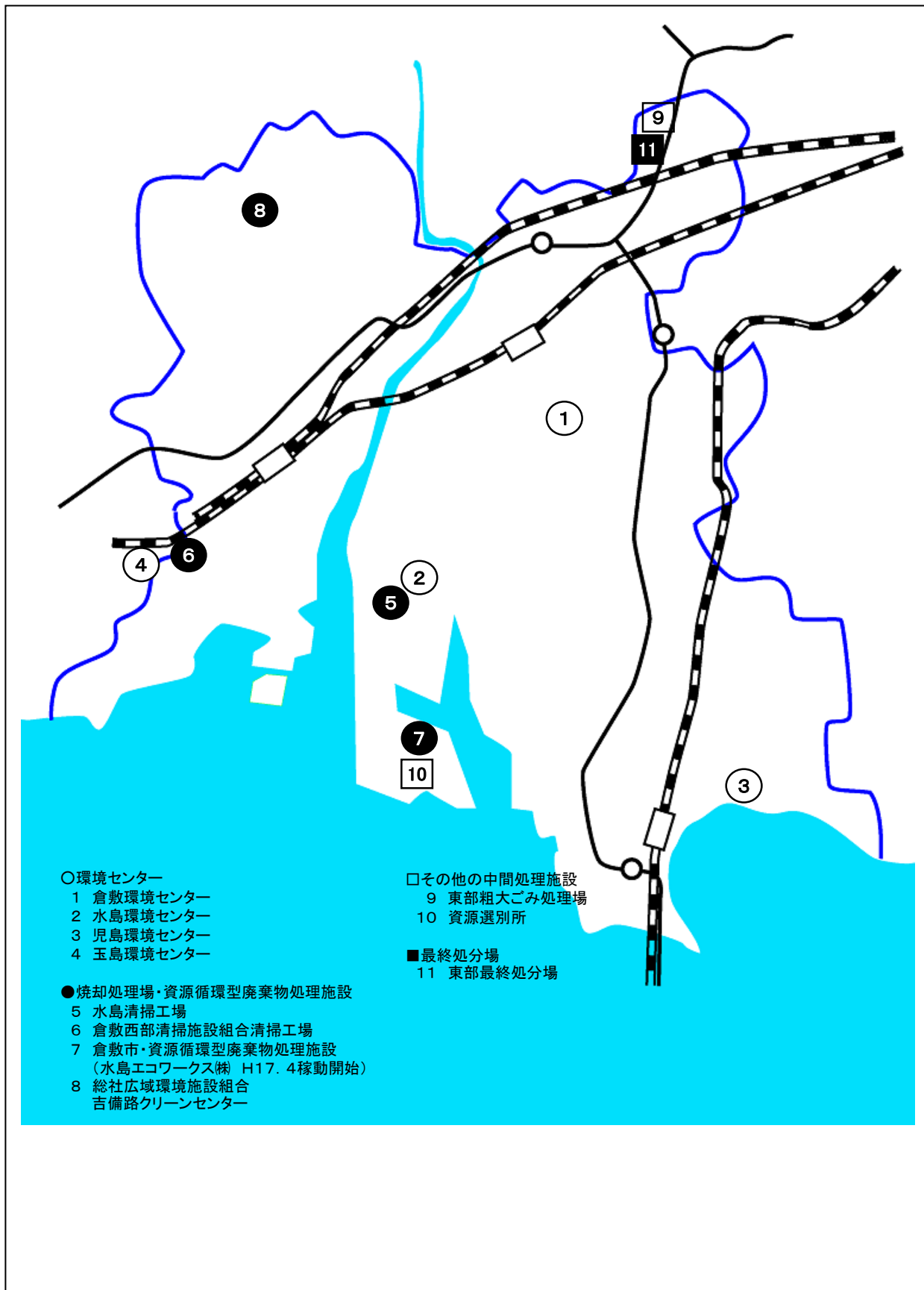
所管部署	東部埋立事業所
施設名称	東部最終処分場(2期)
埋立容量	330,000 m ³
備考	令和21年3月埋立終了 予定 (残余容量調査による)

◇し尿処理場◇

所 管 部 署	倉敷環境センター	水島環境センター	児島衛生センター
施 設 名 称	白楽町し尿処理場	水島し尿処理場	児島下水処理場
施 設 能 力	240kℓ /日	128kℓ /日	85kℓ /日
備 考	浄化槽汚泥の脱水処理に係る施設能力を記載		

所 管 部 署	玉島環境センター	備南衛生施設組合 (倉敷市・岡山市・早島町 で構成)	総社広域環境施設組合 (総社市・倉敷市で構成)
施 設 名 称	玉島し尿処理場	清 鶴 苑	アクアセンター吉備路
施 設 能 力	70kℓ /日	80kℓ /日	90kℓ /日
備 考		倉敷市持分34.7% (27.8kℓ /日)	平成19年1月末稼動

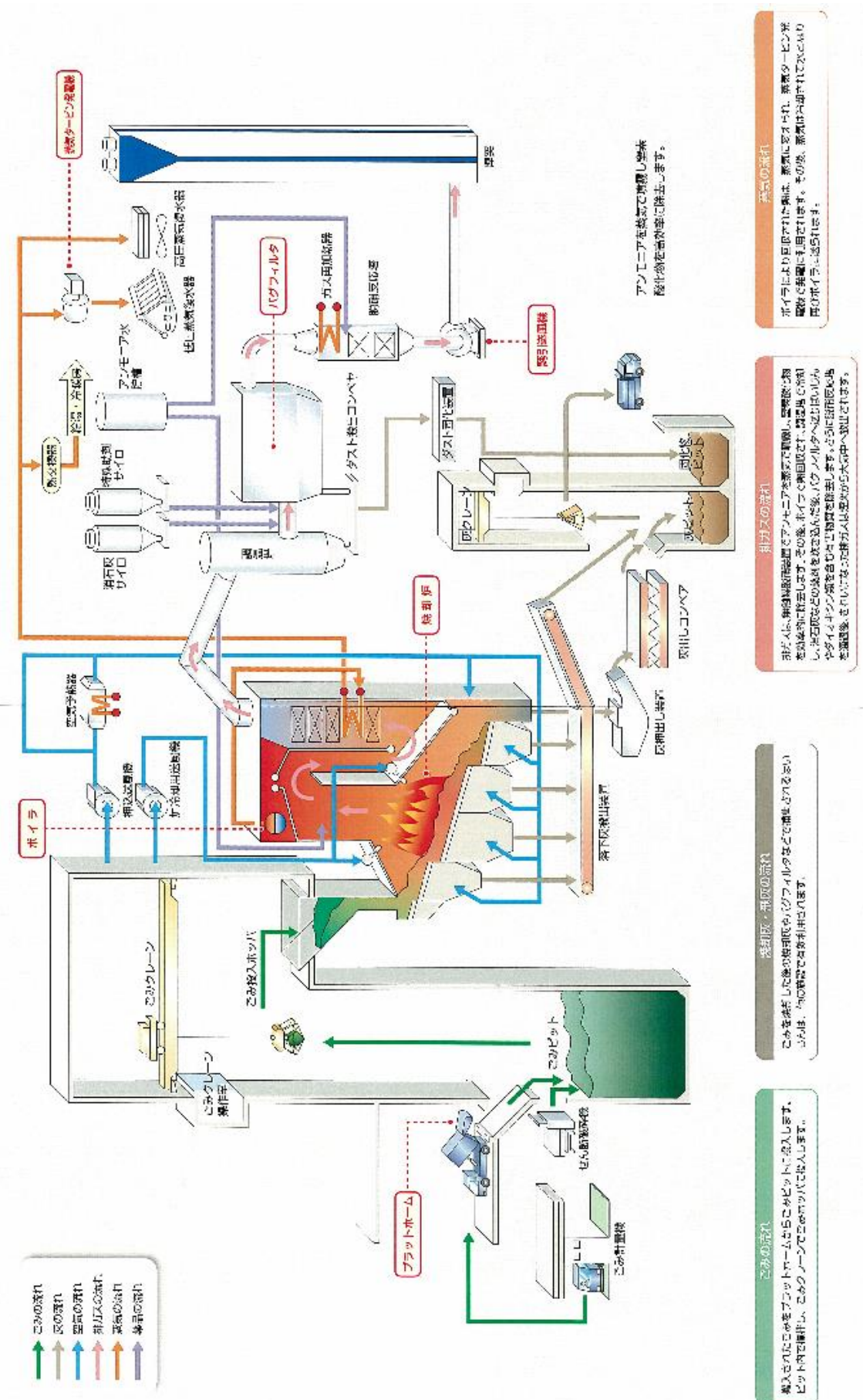
4 一般廃棄物処理施設位置図



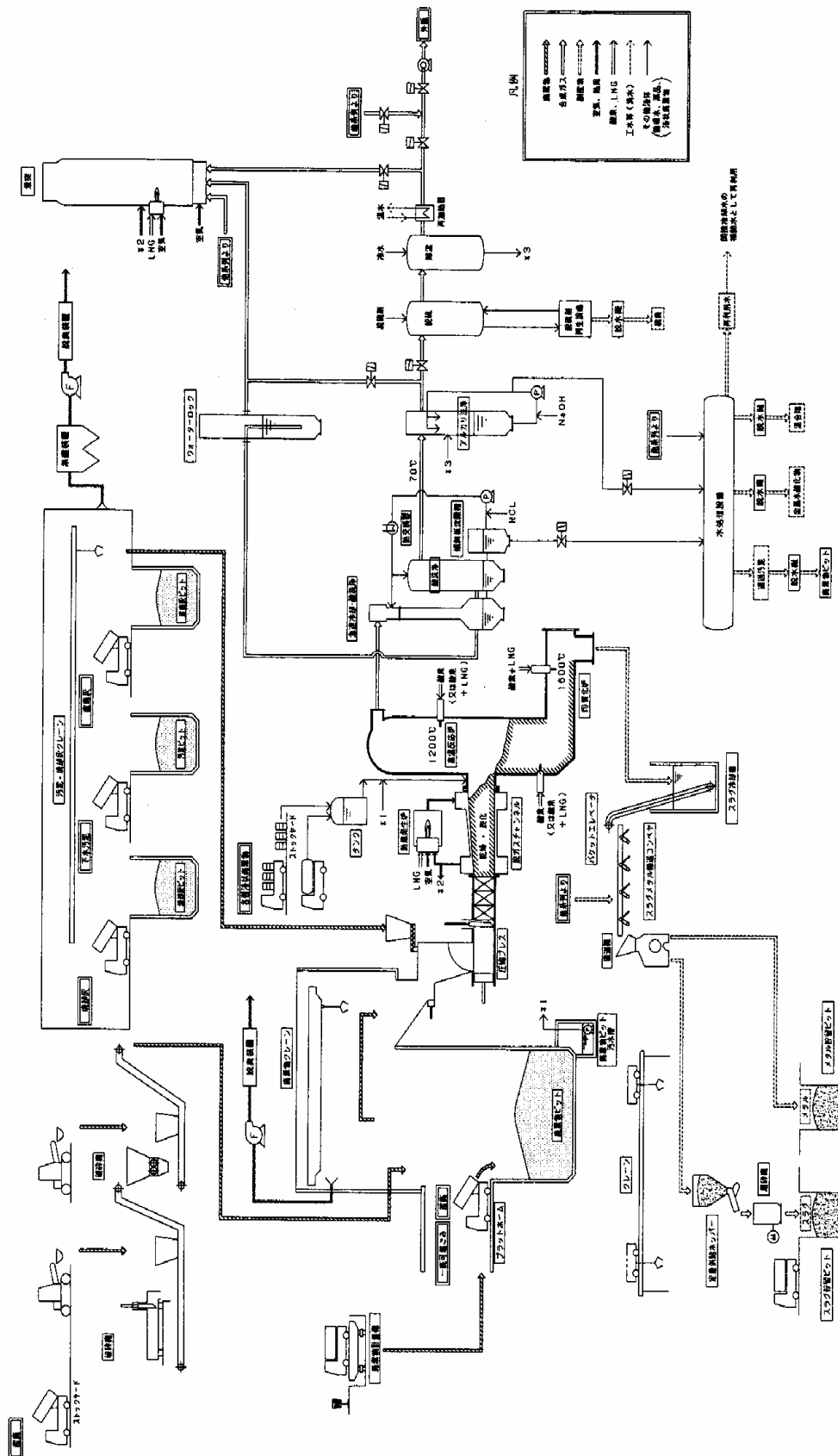
5 焼却処理場・資源循環型廃棄物処理施設

施設名称		水島清掃工場	倉敷西部清掃施設 組合清掃工場	吉備路クリーン センター	倉敷市・資源循環型 廃棄物処理施設	
設置主体		倉敷市	倉敷西部清掃施設組合	総社広域環境施設組合	水島エコワークス株式会社 (倉敷市 PFI 事業)	
所 在 地		水島川崎通1－1－4	玉島道越888－1	真備町箭田481	水島川崎通1－14－5	
竣工年月		平成6年12月	平成10年3月	平成9年3月	平成17年3月	
敷地面積		9,917 m ²	5,764 m ²	15,000 m ²	33,281 m ²	
建築面積		4,377 m ²	2,057 m ²	6,300 m ²	9,185 m ²	
構 造		鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンク リート造	
炉 形 式		全連続式ストーカ炉	全連続式流動床炉	全連続式流動床炉	全連続式ガス化熔融炉 (ガス化改質方式)	
処理能力		300t／24h (150t／24h×2炉)	180t／24h (90t／24h×2炉)	180t／24h (90t／24h×2炉)	555t／24h (185t／24h×3炉) 内訳 一般廃棄物等 303t/24h 産業廃棄物 252t/24h	
熱しゃく減量		5%以下	1%以下	3%以下	－	
ばいじん量		0.01g/Nm ³	0.01g/Nm ³	0.01g/Nm ³	0.02g/Nm ³	
設備 内容	受入設備	トラックスケール	トラックスケール	トラックスケール	トラックスケール	
	投入方法	ピット&クレーン	ピット&クレーン	ピット&クレーン	ピット&クレーン	
	ガス冷却 方式	廃熱ボイラ	水噴射	廃熱ボイラ・水噴射併用	急速冷却方式 (湿式飽和型冷却)	
	通風方式	強制(平衡)	強制(平衡)	強制(平衡)	－	
	除じん方 式	乾式(消石灰吹込)バグ フィルタ＋触媒脱硝装 置	乾式(消石灰吹込) バグフィルタ	乾式(消石灰吹込) バグフィルタ	湿式ガス洗浄方式	
	煙 突 高	59m	59m	59m	29.5m	
建 設 費		① 17,679,950 千円 ② 4,949,702 千円 ① 当初建設費 ② 改良工事費	6,993,700 千円	11,755,815 千円	10,361,043 千円	
		国庫補助	① 2,422,500 千円 ② 2,096,290 千円	1,052,665 千円	1,209,066 千円	数値は一般廃棄物相当分
		起 債	① 13,110,200 千円 ② 2,483,700 千円	5,205,100 千円	8,619,800 千円	
		一般財源	① 2,147,250 千円 ② 369,712 千円	735,935 千円	1,926,949 千円	
工事施工者		日立造船(株)	(株)荏原製作所	(株)神戸製鋼所	JFE エンジニアリング(株)	
備 考		平成25年度から平成2 8年度にかけて基幹的 設備改良工事を実施	平成17年9月、処理能力 を120t／日から180t／ 日に変更	－	－	

ごみ処理施設フローシート（水島清掃工場）



倉敷市・資源循環型廃棄物処理施設（水島エコワークス㈱）のシステムフローシート



6 焼却処理施設回収エネルギー・副生成物の有効利用

(1) 水島清掃工場

水島清掃工場では、ごみ焼却に伴い発生する熱を蒸気として取り出し、蒸気タービン発電機で、最大3,400kWの発電を行っている。発電した電力は場内でプラントの運転で使用するとともに、余剰電力は電力会社に売電している。

水島清掃工場発電量（令和元年度）

発 電 量	売 電 量	場 内 使 用 量
27,852MWh	19,328MWh	8,697MWh

(2) 倉敷市・資源循環型廃棄物処理施設（水島エコワークス）

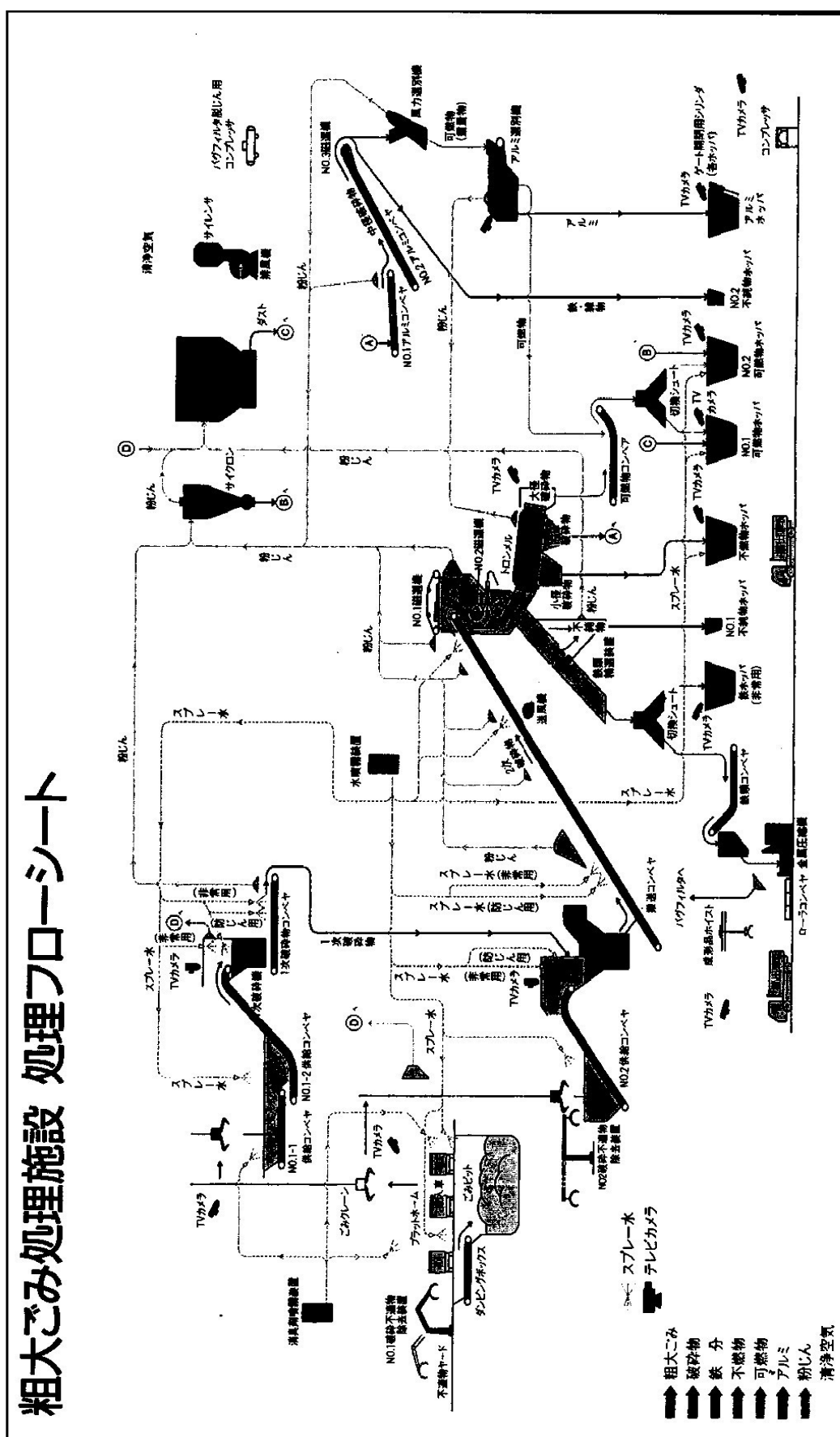
この施設では、令和元年度実績として倉敷市が搬入する一般廃棄物等74,063（トン／年）（可燃ごみ50,323トン、焼却灰16,090トン、下水汚泥7,650トン）と民間事業者である水島エコワークスが独自に行う処理事業で受け入れる産業廃棄物68,207（トン／年）を受け入れ混合処理し、精製合成ガス(回収エネルギー)約142,611（トン／年）を、また、副生成物としてスラグ約28,888（トン／年）、メタル約527（トン／年）、混合塩約1,537（トン／年）等を回収している。

なお、このサーモセレクト方式ガス化改質炉は、容器包装リサイクル法で規定する「その他プラスチック」製容器包装物のリサイクル施設(ガス化によるリサイクル方式)として認められており、本市でもこれを踏まえてこの施設での処理を資源化处理として位置付けているものである。

7 粗大ごみ処理場，資源選別所関連施設

施設名称		東部粗大ごみ処理場	吉備路クリーンセンター 粗大ごみ処理施設
所在地		二子1917-4	真備町箭田481
竣工年月		平成6年3月	平成9年3月
敷地面積		6,870 m ²	15,000 m ²
建築面積		1,043 m ²	6,300 m ²
処理対象品目		粗大ごみ	粗大ごみ
処理能力		80 t／日	36 t／日
運転時間		1日5時間運転	1日5時間運転
設備 内容	破碎方式	2段式破碎(2軸剪断+堅形衝撃剪断)	(不燃性) 2段式破碎(前処理破碎+衝撃せん断) (可燃性) せん断往復式
	選別方式	4種選別 (鉄類,アルミ類,可燃物,不燃埋立物)	4種選別 (鉄類,アルミ類,可燃物,不燃埋立物)
建設費		2,894,300 千円	焼却処理施設建設費に含む
国庫補助		1,064,200 千円	
起 債		1,611,500 千円	
一般財源		218,600 千円	
工事施工者		極東開発工業(株)	(株)神戸製鋼所

施設名称		資源選別所	吉備路クリーンセンター ストック・カレットヤード
所在地		水島川崎通1-18	真備町箭田481
竣工年月		平成8年3月	平成9年3月
敷地面積		6,400 m ²	15,000 m ²
建築面積		1,597 m ²	6,300 m ²
	管理棟	138 m ²	—
	選別棟	1,014 m ²	—
	コンテナ倉庫	208 m ²	—
	ストックヤード	237 m ²	1,352.52 m ² (カレットヤード含む)
処理対象品目		びん類	資源ごみ
処理能力		15 t／日	—
運転時間		1日5時間運転	—
設備 内容	破碎方式	—	—
	選別方式	手選別	手選別
建設費		251,306 千円	焼却処理施設建設費に含む
国庫補助		—	
起債		197,600 千円	
一般財源		53,706 千円	
工事施工者		(株)菱水エステック (株)コスガデンキ (有)小田設備	(株)神戸製鋼所



8 リサイクル関連施設

施設名称		倉敷市リサイクル推進センター(愛称:クルクルセンター)	
所在地		児島小川町3697-4	
竣工年月	敷地面積	平成16年11月	10,111m ²
建築面積	本体建物	826m ²	リサイクル推進センター:536m ² 環境センター:98m ² , 共用部分:192m ²
	バイオディーゼルプラント	34m ²	
	ストックヤード	315m ²	
開館時間		9:00～17:15(毎週月曜日及び年末年始休館)	
施設内容		リサイクル学習室, リサイクル体験室ほか	
バイオディーゼルプラント概要		処理能力:100 ^{リットル} /バッチ・7時間	
太陽光発電設備		設備容量:20kW	
建設費	起 債	893,772 千円(用地費525,972千円含む。)	
	県補助金	687,000 千円	
	一般財源	32,920 千円	
		173,852 千円	
工事施工者		(株)綾野工務店 東海電機(株) (株)児島配管 (株)白神建設	

9 最終処分場

処分場名		東部最終処分場(2期)
設置主体		倉敷市
所在地		二子1923-5
埋立面積		33,000 m ²
埋立容量		330,000 m ³
埋立期間	埋立開始	平成15年3月
	終 了	令和21年3月予定 (残余容量調査による)
浸出液処理施設		生物処理(含脱窒)+凝集沈殿+砂ろ過+活性炭+貯留槽1,000m ³
建設費	国庫補助	1,389,683千円
	起 債	551,702千円
	一般財源	795,900千円
		42,081千円
工事施工者		間組・大森工務店ほか

倉敷市・資源循環型廃棄物処理施設整備運営事業(平成17年4月開始)においては、既存施設の焼却灰を溶融処理し、スラグとして再利用しており、最終処分場の大幅な延命化となっている。

10 跡地利用

(1) 西部ふれあい広場

西部最終処分場は平成9年2月に搬入停止し、平成9年度に整地工事を実施した。

その後、平成10年度に跡地利用について地元協議を行い、多目的広場などの建設を行うこととなった。

跡地整備事業は、平成11年度から平成13年度までの3ヶ年で行った。(主な工事は下記のとおり)

平成 9年度 整地工事	29,897千円
平成11年度 造成工事, 植栽工事	44,971千円
平成12年度 造成工事, 植栽, 便所, 舗装工事	42,000千円
平成13年度 テニスコート工事	24,915千円
建設費計	141,783千円

□建設費 141,783千円の内訳

- ・起債 97,700千円
- ・一般財源 44,083千円

跡地整備事業は平成13年度末に完了し、平成14年4月1日に、西部ふれあい広場としてオープンした。

西部ふれあい広場全体を平成30年7月豪雨災害による災害廃棄物の仮置場として使用したが、翌年度に行った復旧工事において、テニスコートを廃止し、多目的広場及び駐車場を拡張した。

現在の施設としては、多目的広場3面(約20,000㎡)(無料)、屋外トイレ、駐車場(114台)(うち身障者用3台)などであり、受付等の運営は直営で、施設の除草等清掃業務と鍵の管理、巡回業務を地元町内会に委託している。

多目的広場はグラウンドゴルフやサッカースポーツ少年団の練習、地域の交流行事などに利用されている。

(2) 水島ふれあいセンター

平成6年12月に水島清掃工場が完成，本格稼動したことに伴い，旧水島ごみ焼却処理場は，平成6年8月に運転休止，平成8年3月に施設を解体，撤去した。地元との跡地利用協議の結果，福利厚生施設（体育館，コミュニティーハウスなど）を建設することとなった。

跡地整備事業は，平成8年度から平成10年度の3ヵ年で行った。（建設費652，500千円）

□建設費	652，500千円の内訳
・起債	495，200千円
・一般財源	157，300千円

水島ふれあいセンターの施設は平成10年11月30日に完成し，平成11年2月20日にオープンした。

施設内容としては，体育館（887㎡，有料），コミュニティーハウス（680㎡）〔研修室・大広間（有料），和室休憩室，浴室（無料）など〕，多目的広場（4，731㎡，無料），子供広場（1，100㎡，無料），屋外トイレ，駐車場（29台）（うち身障者用3台）などで，受付等の運営を指定管理者（(財)倉敷市スポーツ振興協会）に，建物等の清掃を地元町内会に委託している。

体育館はバレーボール，バスケットボールなどの市内のサークル活動に，研修室は生け花などの趣味の会や地域住民の会合などに，大広間は日舞や三味線などに，多目的広場は地域の子供のサッカーやソフトボールに利用されている。また，子供広場には多目的遊具，ベンチ，砂場，パーゴラ（日陰棚）などを備え地域住民の憩いの場となっている。

1 1 し尿処理場

施設名称		白楽町し尿処理場	水島し尿処理場	児島衛生センター	玉島し尿処理場	備南衛生施設組合 (清鶴苑)	総社広域環境施設組合 (アクアセンター吉備路)
設置主体名		倉敷市	倉敷市	倉敷市	倉敷市	倉敷市, 岡山市, 早島町	総社市, 倉敷市
所在地		白楽町424	水島川崎通1丁目	児島小川町3670	玉島乙島8255	茶屋町1919	総社市窪木1101
建築年月	着工	昭和38年11月	昭和43年1月	し尿収集業務 し尿処理は, 児島下水処理場が担当している。	昭和56年1月	昭和58年10月	平成16年10月
	竣工	昭和40年3月	昭和44年3月		昭和56年10月	昭和60年11月	平成19年1月
敷地面積		10,040 m ²	10,479 m ²		7,057 m ²	8,333 m ²	14,417 m ²
建築面積		278 m ²	180 m ²		614 m ²	1,998 m ²	1,811.77 m ²
処理能力		240kl/日	128kl/日	85kl/日	70kl/日	80kl/日	90kl/日
処理方式		前処理+汚泥処理	前処理		前処理	標準脱窒素処理+凝集沈殿+オゾン処理+砂ろ過+活性炭吸着+抗火石浸漬床	膜分離高負荷生物脱窒素処理方式(浄化槽汚泥対応型)+活性炭
放流先		下水処理場	下水処理場		下水処理場	倉敷川	前川
処理目標及び上乗せ基準等						BOD10 mg/ℓ SS 5 mg/ℓ T-N10 mg/ℓ T-P1 mg/ℓ	BOD10 mg/ℓ SS 5 mg/ℓ T-N10 mg/ℓ T-P1 mg/ℓ
設備内容	前処理施設	有	有		有	有	有:前脱水
	希釈水	無	無		無	河川水	無
	汚泥処理	脱水				脱水・場外搬出(乾燥・焼却はH19.7～休止)	脱水・場外排出
	汚泥処分	外部焼却				民間委託	民間委託
	脱臭方式	湿式脱臭	湿式脱臭		湿式脱臭	生物脱臭+アルカリ洗浄+活性炭	アルカリ洗浄+活性炭
建設費		118,824,601円	187,627,430円		305,812,000円	1,649,445,000円	2,408,700,000円
内訳	国庫補助	33,000,000円	51,500,000円		150,000,000円	534,374,000円	—
	県補助	1,980,000円	3,070,000円		—	—	—
	起債	53,500,000円	81,700,000円		117,600,000円	621,100,000円	2,112,500,000円
	一般財源	30,344,601円	51,357,430円		38,212,000円	493,971,000円 指定寄付 51,188千円含	296,200,000円
工事施工者		荏原インフィルコ(株)	荏原インフィルコ(株)		荏原インフィルコ(株)	久保田鉄工(株)	(株)クボタ

前処理施設設置等		昭和56年4月	昭和59年4月				
工事費		138,122,000円	147,367,000円				
内訳	起債	122,100,000円	130,500,000円				
	一般財源	16,022,000円	16,867,000円				

1 2 浄化槽汚泥脱水施設

施設名称		白楽町し尿処理場内 汚泥脱水処理施設
設置主体		倉敷市
建築 年月	着 工	平成 8 年 8 月 2 1 日
	竣 工	平成 8 年 1 2 月 1 8 日
建築面積		1 5 6 m ²
処理能力		8 m ³ /h × 4 台
処理方式		多重円盤型
放 流 先		下水処理場
汚泥処分		外部焼却
建 設 費		1 8 9, 0 4 6, 2 0 0 円
内 訳	起 債	1 8 4, 3 0 0, 0 0 0 円
	一般財源	4, 7 4 6, 0 0 0 円
工事施工者		建設工事：(株)風早興業 電気設備：川鉄電設(株) 機械設備：(株)善 興 社

1 3 し尿貯留施設

本市では、し尿収集困難地区対策としてし尿貯留槽を設置していたが、衛生上の問題もあり、廃止手続きを進めている。現在使用されている貯留槽は、玉島地区の 1 箇所のみで、廃止手続きが完了している 6 箇所については、令和 2 年度より年に 1 箇所ずつ解体していく方針である。

また、真備地区の中継槽は、箭田中継槽のみを使用し、川辺中継槽は令和 2 年度に解体撤去を進めている。

し 尿 貯 留 施 設 一 覧

(令和 2 年 4 月 1 日現在)

名 称	所 在 地	位置の現況	許容量
柏島東深底貯留槽	玉 島 柏 島	深 底 池 西 側	約 6 kℓ
箭 田 中 継 槽	真備町箭田	真備総合公園北側	約 1 6 0 kℓ
川 辺 中 継 槽	真備町川辺	県道下原船穂線沿い	約 1 6 0 kℓ

1 4 公衆便所

(1) リサイクル推進部所管

(令和2年4月1日現在)

名称	所在地	設備	構造	面積㎡	建築年月日	備考
中央1丁目	中央1丁目	水洗	鉄筋コンクリート造	47.61	昭和41年3月31日	多目的トイレ設置 H18内部改造
本町	本町3	水洗	鉄筋コンクリート造	13.90	昭和63年3月31日	
鶴形1丁目	鶴形1丁目	水洗	鉄筋コンクリート造	11.30	昭和38年3月31日	
鶴形2丁目	鶴形2-735-3	水洗	鉄筋コンクリート造	6.52	昭和57年3月31日	
倉敷駅北	寿町 13-1	2Fデッキ	水洗 鉄骨造	47.97	平成 9年3月31日	多目的トイレ設置
		1F広場	鉄筋コンクリート一部鉄骨造	30.72	平成 9年2月 1日	多目的トイレ設置
倉敷駅南	阿知1-600	水洗	鉄筋コンクリート造	24.73	昭和58年9月10日	多目的トイレ設置
中庄駅	鳥羽17-1	水洗	鉄筋コンクリート造	58.42	平成 7年3月31日	多目的トイレ設置
水島栄町	水島東栄町7	水洗	鉄筋コンクリート造	28.50	平成 1年3月31日	多目的トイレ設置
茶屋町駅	茶屋町478	水洗	コンクリートブロック造	24.00	昭和63年3月20日	多目的トイレ設置
木見駅	木見469	くみ取り	コンクリートブロック造 折板ぶき平屋建て	9.00	昭和63年3月20日	
児島駅	児島駅前1-4035-3	水洗	コンクリートブロック造	58.50	昭和63年3月20日	多目的トイレ設置
児島駅前	児島駅前1-4030-2	水洗	鉄筋コンクリート造	75.60	昭和63年7月 8日	多目的トイレ設置 内部改造
児島環境センター前	児島小川町3697	水洗	鉄筋コンクリート造	17.84	平成15年	多目的トイレ設置
上の町駅	児島上の町2丁目	水洗	コンクリートブロック造 折板ぶき平屋建て	9.00	昭和63年3月20日	
玉島港橋	玉島中央1丁目地内	水洗	木造	15.29	平成28年3月27日	多目的トイレ設置
玉島中央公園	玉島中央町3-911-9	水洗	鉄筋コンクリート造	36.98	平成 1年3月31日	
玉島中央町駐車場	玉島中央町1-23-10	水洗	鉄筋コンクリート造	29.71	平成 3年3月31日	多目的トイレ設置
新倉敷駅前	玉島爪崎528-6	水洗	鉄筋コンクリート造	44.60	平成12年3月31日	多目的トイレ設置

(2) 他部署所管 (清掃のみ実施)

名称	所在地	設備	構造	面積㎡	建築年月日	所管
西中新田卸売市場内	西中新田525	水洗	鉄筋コンクリート造	16.00	昭和45年12月	商工課
浅原	浅原1619	水洗	アルミサンドイッチ パネル壁式構造	23.04	昭和13年1月 8日	観光課

